●きりゅう・だいすけ
1983年6月30日生まれ。秋田市出身。15歳でエルヴィスプレスリーに憧れ、上京後ライブ活動をする中、2016年、日本クラウンよりメジャーデビュー。2017年には、エルヴィスコンテスト日本大会で3度目の優勝。世界大会に日本代表として3度目の出場を果たす。同時に、エルヴィスプレスリーが最初にレコーディングしたサンスタジオでレコーディングを行った『Recorded at Sun Studio in Memphis』は好評発売中。

エルヴィスプレスリー・トリビュート・アーティスト

桐生 大輔

誇るべき我が故郷、秋田

我が故郷、秋田を離れ、今年で早17年目となります。

18歳で秋田を離れましたので、もう、人生の半分は秋田から離れているということとなります。しかしながら、私の心の中には、故郷秋田が常にあります。

私は、高校卒業までの多感な時期を秋田市で過ごしました。田んぼでサッカーをしたり、キャッチボールをしたり、はたまた、蛍を捕まえたりと、秋田の自然と触れ合ってきました。外で遊んで、ペコペコのおなかを癒やしてくれたのは、炊きたての真っ白なあきたこまちでした。そんな、ごく普通の少年時代を過ごしておりました。そんな中、私に運命の出会いがありました。

エルヴィスプレスリー。それまで音楽の成績は、通信簿では1か2で、音楽には全く疎い私の心を奪った、かっこいい一人の男性。こんな風になりたい!! この日を境に、エルヴィスへの憧れは、日に日に大きくなっていきます。

私は現在、エルヴィスプレスリー・トリビュート・アーティストとして、全国で活動をしております。日本に来日することがなかったエルヴィス。わが国ではその正しい姿は認知されておらず、はたまた、その見た目のイメージだけが独り歩きし、パロディー的な扱いとなっていることが、私にとってはとても悲しい現状です。日本におけるエルヴィスの再認識を目指して活動をしております。

昨年は、日本国内のエルヴィスプレスリーコンテストで3度目の優勝をさせて頂き、エルヴィスの故郷アメリカメンフィスの世界大会に日本代表として出場して参りました。今回が3度目の挑戦でした。世界の壁は厚いものです。再度、自分を磨いて挑戦するつもりです。

エルヴィスは、その一生涯をテネシー州メンフィスという小さな町で過ごし、故郷で人生の幕を下ろしました。故郷を愛した人でした。私もメンフィスには大会も含め4度訪れておりますが、何か秋田と似た雰囲気を感じます。現在のエルヴィスの豪邸は一般公開され、世界でも有数の観光地となっております。死して41年たった今なお、故郷の産業に貢献しております。

私の目標は、日本のエルヴィスになることです。大き過ぎる目標ですが、その分やりがいがあります。歌手として、人間としてもまだまだですが、エルヴィスがしたように、故郷に恩返しができるよう頑張っております。

さて、私は歌手活動として、時には海外へ、また、国内もいろいろな県や土地にてキャンペーンに行かせて頂いております。故郷の良さは離れてこそ分かるもので、秋田の人の温かさ、食の美味しさを再認識させて頂いております。私にとって、秋田が故郷であることは誇らしいこととなっております。昨今は人口減少が問題視されておりますが、私が感じるには、この問題はどこの地方自治体も同じかと思います。秋田の愛すべき食文化を武器に、盛り上げていってほしいです。

私は秋田での音楽活動としまして約10年間、6月のバースデーライブ、12月のクリスマスライブ、そして各種イベントへの参加をして参りました。これらの活動は、これからももちろん続けていきます。そして、いつの日かエルヴィスのように、故郷に恩返しができるよう、今は故郷を離れ頑張ります。

厳しい冬を耐え忍んだからこその食材のうま味、それは秋田人にもいえると思います。ぜひぜひ、秋田の食文化をその温かい人情で守っていただけたらうれしいです。共に頑張りましょう!

2017年、メンフィス世界大会の様子

CD『Recorded at Sun Studio in Memphis』好評発売中!